

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所 重症児デイサービスはじめの一歩

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			活動によって施設の他の部屋を使用したりベットの位置を工夫してスペースを作っている。	
	2	職員の配置数は適切である		2	1	個別での対応を意識して配置している。	利用者様が増えたことにより人員配置が厳しくなっているため人手を募集している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1		利用者様は車椅子やバギー利用者がほとんどであり敷地内はバリアフリー化されている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		2	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	2		2020年より保護者アンケートを年度末に実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		2	1	本ホームページにて記載。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1		資格の研修を確保してくださりとても助かっている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	2			スタッフと検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		2	1		基本的な流れは利用者様の安定のためかえないようにしているが個々に合わせた支援を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			3	長期休暇には普段出来ない外出や活動をしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している			3		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2		毎日申送りの時間を設けている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			3		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3				日々の記録は取っているがまだまだ支援の改善は必要と思われるため検討して行きたい。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1				

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	1	2		
----	---------------------------------	---	---	--	--

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3			保護者を通して情報共有や連絡調整を行っているが連絡ミスが起こることがある。保護者とも連携を取りながら学校とも情報共有ができるように関係性を構築出来るようにする。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1		連携を取っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2		交流の機会を作っていけるように外部との関係性を構築していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	1	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			変更があれば書面で説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			その都度職員間で話し合い支援に繋げるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3		保護者も交えて行える企画を検討する必要がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			苦情窓口を明記周知している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	2		
	35	個人情報に十分注意している	3			同意書を作成している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	1	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2	各マニュアルは年一回見直し職員間に周知している	職員間では周知しているが保護者へ周知していないため面談時などで周知出来るようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		年に二回避難訓練をしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		同意を得てサインをもらい、経過の報告も行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1		事業所内で共有している。